

5C⑨キングダムセミナー20250920

皆さん、こんにちは。9月のキングダムセミナーです。9月と10月は、第3土曜日にさせていただきます。全く私の都合です。すみません。

LINEのみなさんも、こんにちは。今日も始めて参ります。いかがですか？

心を整え、思いを整えて進めていきましょう。それでは、賛美から進めていきましょう。

賛美 12:34.11

主と賛美と霊の歌というのがありますよね。我々、みんなが集まって、楽譜や歌の歌詞を見ながら、一緒にこうやって賛美しますよね。それには、もう慣れておられると思いますし、初めて集会に来た方でも、そういうものだと思われていると思いますけれど、・・・例えば詩篇とかを抜粋して書かれた詩というものがあるけれど、礼拝式の中では、交読したりしますよね。で、そういう詩と、そして、こうやって楽譜が出来て、みんなで、読みながら見ながら歌える賛美があるよね。その賛美を主に向かって、私達は歌う。そして、我々の内なる聖霊も歌い、我々の主への向き合いを助け、深めてくれる。

そうです。聖霊は、賛美を歌う中で、我々の主との向き合いを助けてくださるんです。我々の魂が、賛美の中に、溶け合って深まって、我々の魂が、雑音なく、いわゆる透明になって、主に向かい合っていく時に、もちろん、霊も我々の内で、もっと自由になって、我々から溢れでてくださるわけです。そして、我々の賛美の歌は、日本語で歌っているけれど、意味を感じ取りながら歌っているけど、聖霊もそれに満ち溢れてくる。14:53.28

今、賛美の歌が終わりましたけれど、・・・ひとつを 我願う あなたを見ることを・・・っと、音楽が終わっても、私たち内の御霊は、ずっと解き放たれ、流れて溢れていつているわけです。その御霊の溢れを、自分の意思で止めないで、一緒に歌うのです。音楽が、伴奏が、終わったら「はい終わり」じゃないですから。伴奏は終わりますけど、内側は、そうじゃないんです。我々の内側の礼拝は続くから、我々の内側の聖霊の溢れ、それに私達自身も合わせて、日本語の歌詞はでなくても、その聖霊の思い、内側の解放というものを、自分の中で、ゆっくりとした時を持つんです。16:15.25

そうしたらね、中には、その聖霊の溢れにメロディーが付いて出てくる。色んなメロディーが付いてくるから、その中でしばらく聖霊にゆだねて、歌い始めるのです。私達が互いにいても。異言を祈る時のように、自分の舌を任せる。心を解放する。それが『霊の歌』というものです。16:52.81

だから、我々もこうやって楽譜に書かれた賛美を歌うだけでなく、ほんとに自分の中から生きた御霊と共に『霊の歌』を歌う礼拝に、進んでいこうじゃないですか。ですから、ひとつの型に習慣づけないで、一つの楽譜が終わったら、「はい終わり」で、そこでちょんぎらないで、どうか、この場だけでもいいから、少しその為の時間を取るのも素晴らしいことです。『詩・讃美・霊の歌』っていうのがあるんです。そこに前進するようにしたらいいですね。それは別に、人々が集まった時っていう特別な時じゃなくて、自分で一人で賛美する時も、そうですよ。『霊の歌』を賛美するんです。歌っています

5C⑨キングダムセミー20250920

か？私達のこの集会では、楽譜による賛美が終わったからといって、「はい、次のプログラム」という風に、急ぎませんので。そういうことができますので・・・ちょっと、少しずつ、そういうところを持っておきましょう。18・33.80

もう1曲賛美 18番 神の子と呼ばれる 24:16.36

あなたは、私にとって、誰なのか、
あなたは、私にとって、誰なのか、
どれだけ価値があるのか。

あなたは誰だか 知っていますか
知って欲しいのです。

・・・賛美の中で、私の中に強く込み上げてきました。
私達のセルフアイデンティティー、神の国の私達は一体、何なのだろうか・・・
深く刻み、打ち立てていきましょう。
アーメン。25:21.58

前半

それでは、9月のキングダムセミナーを始めたいと思います。
本で言うならば、パート1が、終わっているところです。そのあたりになります。ここままで、皆さん、「いや、もう一つスッキリわかんないな」と、思われたならば、パート1をもう一度、ゆっくりと読み返してみてください。そして、線を引き引きながら・・・「ここは自分ではこう思うけれど、これでいいのかな」と、思ったらどうぞ遠慮なく聞いて下さい。私も、一人一人と、話したいです。きっちり、分かち合っていきたいので。26:54.67

それでは、ちょっと読み始めていきます。パート2 48ページ。

【**霊の領域から、それが神の方法です**】と書いてあります。

先月の集会から今まで、《主が望んでおられる主と私たちとの関係》ということを心に留めてきました。でもある人々は、『主との一致』ということを知ると、「自分は、主と一致した生活ではないな」と、自己嫌悪に陥ってしまうのかもしれませんが、でも、そこで**決して出発点を間違わないようにしましょう**。自分の今の生活体験をこの学びと黙想の出発点とするのではなく、**『主が語られた御言葉を出発点』としなければなりません**。現在の自分の歩みが、たとえどのようなものであっても、**まず神の言葉に耳を傾け、『霊の領域から築き始めること』が、物事を進める正しい方法だからです。それが神の方法です**。

・・・これ、なんか初めの序文で、軽く書いてあるように思いますけれど、「もうひとつ、なんかもやもやして、パッとしません」と、もしそう思われる気分がある時は、どうぞ、再認識してください。こ

5C⑨キングダムセミー20250920

ここに書いてあることです。自分の体験、自分の歩み、自分の気持ち、状況からすれば、「なんだか主と一致した、ひとつである生活って、自分は、ないな。主のことを忘れてのことばかりだし、生活や仕事に、あくせくして、主との一致なんて、とんでもない。」と、思ってしまうかもしれない。

でも、ここで、『神の霊から出発する』と言っています。あのね、神様の働きには順番があるのよ。
第一に霊、その次に魂、その次に肉あるいは物質の順番。神様の働きは、霊から始まって、私たちの魂の部分である私たちの"知性"と言われる部分、"知識"、"理性"、そして"決心"、"感情"、"気持ち"というのが、その次に来る。このように、霊から始まる。私たちの魂から始まるんじゃない。神様の働きは、霊から始めて、私たちの内側で、私たちの魂を押し上げてくださる。そして、私達の魂の中で認識となり、理解となり、そして決意となる。そうしたら、次に肉体に現れる。物質のレベルに現れるんです。

だから『神の働きは、まず霊から』っていうのは何かというと、神の霊の働きは、神の御言葉の働きです。神の御言葉が発せられる。そして、我々の内に受け止められ、我々の魂がそれをキャッチして、それから「一歩動こう」となっていくんです。ですから、我々の魂のレベルで「いやいや、とてもとても、そんなところに私のレベルは行っていませんよ」と言って、自分をさげすんだり、ガッカリしたりする必要はないんです。

霊から始まるから、神の御言葉がどう言っているか神様がどう見ているか、そっちが先です。そっちを受け取ること、ただ受け取ること。その視点で、主がそう言われるんだったら、「その通りですよ」と、受け取るんです。我々の魂が、それを受け取るんです。受け取ればいいわけです。中にはそれを、跳ね返す人もいるかも知れない。けど受けるんです。受け取って、自分のものとなって「はい。私の魂と御言葉と霊が、ひとつとなって、ではその通りにしましょう」とそういう順番なのよ。 33:58.64

サタンの働き、悪霊の順番はその逆です。まず、肉にくる。物質に来る。そういうのを見せる。そしてそれを見せて、我々の魂が反応するんですよ。我々の気持ちが、古い慣れ親しんだ自分の感情が、それに反応する。「え?!嫌だ。なんだ。こりゃ。怖い気持ち悪い。」と・・・それに一目散に反応します。そしてその反応が霊、魂を束縛するんです。

だから、サタンのやり方っていうのは根本的に、神の霊の働き、御言葉をなめ腐ってます。御言葉を馬鹿にしています。価値を置きません。「そんなもの。そうはいってもねえ」と言って、「神は、本当にそう言ったのか」(創世記 3:1)と、あったじゃないですか。それを馬鹿にして、なめ腐った態度を取って、人の魂に誘いかけて、そして決意させて、手を伸ばして、足を伸ばして動かして、そうやって、自分の霊の仲間にしてしまう。これは、大きな違いであって、これをしっかり認識しないと、神の子としての歩みが、頼りないものになってしまう。おれてしまいますよ。 37:13.55・・・

5C⑨キングダムセミー20250920

では、次、ちょっと読み進めますよ。【主とひとつとされている】

さあ、神の言葉はどういう認識でいるのか。さて、前回の集会の内容を簡単に振り返りながら、学びと黙想を進めましょう。『主と一つとされている』という現実が、私たち一人ひとりに啓示となりますように。主は、私たちが『主と一つとされている現実』に気づくことを願っておられます。さらに、どのように一つとされているのかを、知ることも望んでおられます。再び1つの御言葉を開いてみます。

ガラテア 2章 16節から 21節に、『主との相互内在』の関係が明らかに示されています。

その 20節をみてみます。38:08.40

[私はキリストとともに十字架につけられました。もはや、私が生きているのではなく、キリストが、私のうちに生きておられるのです。いま、私が（肉にあって）この世に生きているのは、私を愛し、私のためにご自身をお捨てになった神の御子の信仰によっているのです]ガラテヤ 2:20

・・・ここ、下線の部分、[神の御子を信じる信仰によって]と、多くの日本語訳聖書で訳されているのを、原文に近いように、ここを書き直しています。「じゃあ、[神の御子を信じる信仰によって]というのは、じゃあ間違いだったんですね」と言われるかも知れませんが、そうではないです。神の御子を信じる信仰でいいんだけど、それをもっとベールを剥いで、その真実な姿を言うならば、「原文の直訳の通りの方が的を得ています」と言っています。ですから、[神の御子を信じる信仰]で、読んでいていいんですよ。でも、あなたが、一歩二歩、もっと深くそこを尋ねてみようと思えば、この訳は、大いに助けられると思います。・・・

そして、次の 49 ページ、

ここでは次のように『相互内在』の内容が述べられています。

[私はキリストとともに十字架につけられました。]これは、⇒《私がイエスの中にいる》、いた、ということです。つまり、十字架の中に私もあなたも、一緒につけられたんですよ。これが真理なんです。それから、もう一方は、[もはや私が生きているのではなく、・・・神の御子の信仰によって、私が生きているのです] ⇒《私の中にいるイエス》これ、パート1から言ってきたことだけど、今、あなたが読んで、どうですか？41:29.48

その下を読みます。

そして、この奥義が、聖書の『救い』というもののベールを剥ぐのです。私たちは、イエスを『キリスト』と信じることによって、『救われる』と聞いてきました。これは確かに真理です。しかし、もっと深く言い換えるべき時が来ています。すなわちイエスの信仰によって『救われる』ということです。しかし、これは、イエス様が私たちの代わりに信仰を持ってくださいということではありません。また、イエス様のような完全な信仰を持たないと、救われないということでもありません。《イエスの完全な信仰が、私たちに与えられる》から『救われる』ということです。その『イエスの信仰』は、私たちがイエスを信じる《イエス》（自分の全存在を、イエスの中に、注ぎ込む）ときに与えられるのです。

5C⑨キングダムセミー20250920

・・・あ、これ《エイス》は、パート1の最後の方で、ギリシャ語で紹介したところの言葉です。(P39) 「イエスを信じる」という時に、ギリシャ語訳では『エイス』という言葉を使っています。『エイス』というのは、英語で言うなら、『into (イントゥー)』つまり、『～の中へ』という言葉が付け加えられているんです。すなわち、《自分の全存在を、イエスの中に、注ぎ込む》という感じです。イエスの中に、自分の『全存在を注ぎ込む』ということ。それを『信じる』と言ってます。そういうことです。43:35.04 単に軽く「今日の夕飯が冷蔵庫にあると信じます。」そんな信じますじゃあないんですよ。自分の全存在をイエスの中に注いでいこうということです・・・

16節では、これが明らかにされています。

[人は律法の行いによっては、義と認められず、ただキリストの信仰によって、義と認められる]ということを知ったからこそ、私たちもキリスト・イエスを《エイス》したのです。これは律法の行いによってではなく、キリストの信仰によって義と認められるためです。

・・・ですから、いわゆる偶像礼拝の信仰、「我々は何々の像を信じます」とかっていう「信じます」というのでも、それだけ、自分の全存在を注ぎ込んで信じようとする人たちも、そこは、それなりにいるでしょう。この『イエス “を” 信じる』というこの時代から『信じる』という言葉が、そんなに深く使われ始められているとすれば、今、私たちが、『信じる』という言葉、もう一度新たによく考えないといけない。45:29.26

後に『信仰を使う』というころでも言いますが、・・・我々、さっきこの会場で、セミナーが始まる前に「『祈る』って幅広いよね」って話をしていたんですけど、それについて、ああだ、こうだと言って、・・・途中で立ち切って始めたんですけど、『祈る』っていう言葉、「信じていますから、祈る」というけど、「でも、何をどう祈るの？」って聞かれたら、その信じている内容が問われるじゃないですか。『祈る』という言葉でもね。「どうぞ、祈って下さいねー」と、私達、言うじゃないですか。そしたら、私の内側では、ちょっと、むくむくっと、「祈って下さいと言うけど、どう祈るの？何をどう祈るの？」と、追いかけて聞きたくなる。46:41.33

だから、私達が、『信仰を使う』っていうことは、心に信じて、決心して歩むんだけど、・・・信じて、初め一言祈ったけど、一歩二歩、歩いたら、もうその信仰が消えている。揺らいでいることあるよね。「ああ、祈ってみたけど、・・・」って。でも、祈り始めたら、それを信じた通りに維持して、信じ続けて『歩み続ける』ということが必要になる。47:32.97

イエス様と交わって、語り合って、主の中で我々は自分の内に、1つの絵を見た。1つの信じる望みを見た。そしたら、その我々の心に描いた主とのその絵、映像の中に、自分がそこに入り込んで、自分を注ぎ込んで、自分がその中の住人になるぐらい、自分を注ぎこまないと・・・。聖書の言う『信じる』というのは、そういうことです。48:26.76

49 ページの下の方、

【勝利するのは〈イエスの信仰の行い〉】

これまでは、義とされる道としての『律法の行い』に対して、〈キリスト・イエスを信じる信仰〉が、真に義とされるもう一方の道として、対比されてきました。しかし、この訳のままであれば、この対比はとても乱暴な対比です。『律法の行い』は、外に現れた行為です。一方、〈キリスト・イエスを信じる信仰〉というのは、心の中のことで、この時点では行為として、外に現れ出たものではありません。この対比のままですと、律法の良い行いは必要なく、"キリストを信じておれば良い"という事になりかねません。

『信仰』と『行い』が切り離され、『行い』が『信仰』の強調の陰で、軽く受け止められてしまうのです。『イエスを信じる信仰』はあっても、『イエスのような行い』ができなくなるのは、このためです。50:13.87

この御言葉によると、『律法の行い』に対比させているのは、『イエスの信仰』なのです。律法の行いに勝利できるのは、『イエスの信仰である』と、この御言葉は教えています。そして、これをもっと正確に意味を捉えるならば、律法の行いに勝利するのは、『イエスの信仰の行い』だということです。

つまり、私たちの中に与えられた『イエスの信仰』が、『(イエスの信仰の) 行い』となって外に現れる時、律法の行いに完全に勝利するのです。 [信仰は、行いとともに働くものであり、信仰は行いによって全うされるのです。] (ヤコブ 2:22) 『イエスの信仰』と「信仰の行い」は、イエスにおいては一つでした。「イエス “を” 信じる信仰」と読んでいただけでは、この部分が抜け落ちてしまいます。 51:23.39

・・・このところが、分かりにくかったら、何度もゆっくり読んでください。「律法の行い」が、どうのこうのという新訳聖書のパウロの言葉にあまり慣れておられない方は、もう一度、ローマ書とかガラテア書とかを読んでみてください。ヘブライ人への手紙も大いに助けになります。51:59.05

はい、50 ページ。

【なぜならば真理が単純すぎるから】

信仰の目を見たことを見たとおりに行動に移していく時、それが現実となっていくのです。それがイエスの自然な生活でした。私たちが自分の存在をイエスの中に注ぎ込むようにイエスと関わるなら、私たちはイエスの中に置かれ、瞬時にイエスの完全な信仰が与えられるのです。 イエスに包まれ含まれているあなたに、イエスはご自身の信仰を委ねられました。今やあなた次第のイエスなのです。59:58.61
これ、凄い真理ですよ。

5C⑨キングダムセミナー20250920

今や、あなたに主の恵みは十分であり、あなたに信仰がないことはあり得ません。要はあなたが、からし種ほどに見えてしまう自分の中のイエスの信仰を使い始めるか、否かにかかっているのです。つまり、信仰の目を見たことを見たとおりに、行動に移していくか否かということです。『イエスの信仰』、これをあなたは確かに持っているのです。イエスは弟子たちに言われました。[もし、あなたがたにからし種ほどの信仰があったなら・・・]と。

これをじっくり思い巡らせてください。すなわち、自分のわずかに思える信仰を取るに足らない恥ずかしい自分の信仰と見ずに、御言葉の啓示のもとに、こんなちっぽけでも、イエスの完全な信仰と見て、動くことだと教えられているのです。多くの人が「神は撒かないところから刈り取り、散らさないところから集めるひどい奴だ(くれもしないのにやれやれと、言われている)」とっているようです。だから、自分の信仰はだめだ、小さい」と嘆きながら、そのわずかな信仰をなくさないように守るだけで一生終わってしまうのです。この信仰は、あなたの作ではありません。(元々)主のものなのです。主が始め、主が完成して、あなたに渡したものです。1:01:58.53

・・・ですから、皆さん、「私、信仰がそんなに・・・どうのこうの、ダメなんです」とか、「私の信仰なんて・・・どうのこうの」と言っていたら、イエス様の信仰への冒涇ですよ。これ、冗談じゃないんですよ。真剣に、自分の中で、自分の中にあるイエスの信仰をどう使うか、これからの将来に向けて、自分の生活の中でどう使うか、そこに自分の頭を向けなきゃ。イエス様はよく言っているじゃないですか。『あなたの信仰が、あなたを救ったんです』って。我々の内にある信仰を、どう使うのか。聖書の中にいっぱいイエス様のところで癒してもらった記録がありますが、あれを、一つひとつ、よく読んでみると、それが、よくわかりますよ。1:03:32.28

例えば、中風の友達をイエス様に手を置いてもらいたいと、その人の友達が、四方を持って天井から釣り下ろすという話がありますが、そこで、イエス様は、その「中風の人の信仰を見て」とは言っていない。『彼らの信仰をみて、・・・』と言っている。彼らがやったことは、大変なことじゃないですか。沢山の人がいるのに、人の家の屋根を破ってですよ、吊り下ろすんですから。そんなことをしていいんですか？その家の人の了解をとったんですか？突っ込みどころいっぱいあるけど、そういう難点も全部乗り越えて、それでも「この友達をイエスの前に吊り下げるに価値がある」と、友達が判断したわけでしょう。それで、それを引き下ろしてもらうことに、中風の本人も心から同意して行ったんでしょね。なんて、図々しいことでしょうか。皆んなが、イエス様の話を聞いているのに。1:05:06.53

『信仰を使う』ということは、時に、図々しいことなんです。それで、屋根を破りながら、引き下ろそうとしたけど、「これはとっても大変で重たいことだ」と。「難しい」と。だから、その吊り下げた友達たちの何人かは、「いやー、無理だよ。やめとこうよ。やっぱり」と思ったらどうなんですか？もうそこまで実行しませんよね。引き返しますよね。一度、こうと決めたことを信じ続けなければ、その信仰は、完成されません 1:05:46.30

5C⑨キングダムセミー20250920

ですから、私達がイエス様に祈る、神に祈る。例えばどんな祈りでも、祈って、願って、自分の前に描いたその絵の中に、その映像に、自分を注ぎ込んで、少々面倒でも、その映像の中に住み続けられますか？ 思い立ったその時は、「ヨシ、やろう！」と言って、やり始めたけど、途中で怖くなって、「やめちゃおう」と。そしたら、そのイエスの信仰は、目的を達成しません。「なーんだ、イエス様に、祈ったけど、やっぱり、上手くならないじゃん。やっぱり神様は聞いてくれない時もあるんだ」と、人は、そう簡単に判断します。 1:06:50.87

この世を押し進めて、変革して、自分の生活を築き上げていくのは、全部、神様が支配しているんじゃないありませんよ。全部神様が、あなたの生活も、結婚も、家庭も、仕事も、人生も神様が全部決めて、支配してるんじゃないあ、ありませんよ。それは、あなたの信仰に委ねられている。だって、この世を支配してるのは、隅から隅まで支配しているのは、神様じゃありませんから。まだ。この世の支配を打ち破るために、私たちは、神様、イエス様のパートナーとして、一つとして、召され、用いられていくんですから。 1:07:53.11

だから、神のひとり子イエスが、始めのアダムがしくじった信仰を、建て直して完成したんですよ。その完成者イエスの信仰の中に、イエス自身の中に、私たちは『置かれている』んですよ。そして、イエスの信仰は、今は、私たち、一人とりの中に置かれているんです。私達がどっかで願って祈っただけで、イエス様がほいほいと、やってくれるんではありません。私達は、何にもしないで。そしたら、神様イエス様は、完全に、私達人間の“使い人”ですか？小間使い人間ですか？ 1:07:59.27

イエス様は我々の主です。神様は天の父です。私たちが、初めのアダムの本来の使命を発揮できるように、もう一度私たちを、初めのアダムの使命をはたせる能力に戻してくださったのが、イエス様でしょう。その第二のアダム、信仰の完成者、イエスの信仰を我々の内にもって、我々が築き上げていくのです。我々が治めていくのです。そこに召されているのがクリスチャンです。神の子達です。 1:10:05.39

そこを捉え違いしてはいけません。創世紀の 1 章 1 節から学んできました。ですから、そういうところは、そこをもう一度ただっていただければ分かっていると思います。初めの、あの神に造られた『初めのアダム』に、私たちは戻されていくのです。そして初めのアダムどころか、そのアダムよりもっと成熟していくのです。 1:11:12.83

【あなたがたのうちに、良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来る時までに、それを完成させてくださることを、私は強く信じているのです】(ピリピ 1:6)って書いてあるよね。

【キリスト・イエスの日が来るまで、・・・】っていう、『キリスト・イエスの日』というのは、『再臨の時』だと、思っていますよね。じゃあ、『再臨』は、いつなの？その日その時は、「誰も知らない」という。子も知らない。御使いも知らない。天の父だけが知っているという・・・、皆さん、ここを突っ込むと、またいっぱい話したくなるんだけど、でも、今は、やめとくけどね・・・イエス様が、「父の知ることは、全部子も知る」という、そのイエスと父との間で、[イエス様も知らない]という、[父だけが知っている]という、この言い方をどう思っていますか？ 1:12:39.43

5C⑨キングダムセミー20250920

これを聖書独特の言い方、**黙示文学的な言い方**っていうんですけど・・・【イエスキリストの日が来るまでに、それを完成させてくださる。】・・・今言っているところは、**ピリピ 1-6**ですよ。

それは、『私たちが完成させられてゆく』ということが、終わりの終わりの局地に、一瞬の内にパッと完成させられますよ」と言っているんじゃないかとなくて、**私たちの内に、良い働きを始められた方は、永遠の今の今、今日というこの日に、良い働きをはじめ、やり遂げ、完成させさせられるんですよ。**

だから、「今日というこの日に、毎日毎日、昨日よりも今日、今日よりも明日。私たちは変貌させられていきますよ」ということ言っているんです。OK ですか？1：14：13.09

私達が、クリスチャンになって、もう何年も経った、あるいは何十年もやっているけど、この歩みをしている、このような日常が、同じレベルで、あと、何十年か生きて、ずっと同じようにやっていくんだわ」と・・・でも、そうじゃありません。**私たちの内に始められた方は、『永遠の完成の姿』を、毎日毎日、『永遠の今』として、キリストの姿に向かって私達は、完成に変貌させられ続けていくのです。そういう日々です」と、いうことです。**

ここは、じっくり思い返しておいて、いいところですね。

はい、このところでもうちちょっと話したいんですけど。えーと、休憩にしましょう。

後半

大切な認識は、私達は、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられていく。変貌させられてゆく。目が開かれ、能力を高められ、主と同じ姿に完成させてくださる。その過程に、今あるんですよ。我々、誰もが。これって、もう、本当に光栄なことで、嬉しいことではありませんか。というのは、もうクリスチャンになって主を知って、皆さん、何年になるんですか？何十年になるんですか？ね、で、その日々完成させられていくということを意識してなくても、それでも、主を知った10年前、20年前、30年前、40年前からしたら、今、違うでしょ。そう思いませんか？「変わってそれかい」と、言われそうだけど、・・・願くことさえもためらってしまいますか？だから、この認識って、とっても大切なんです。2：09.23

それで、私達は、いつの間にか、「救われたか、救われてないか」と言う事が、大きな問いかけであり、大切なことにしています。そうではありませんか？「救われたか、救われてないか」というのは、爆弾発言になるけど、赦して下さいね。そして、躓かないで下さいね。救われたか、救われてないかを、ものすごい大きな命題のように捉えると言うことは、聖書の本当に言いたいメッセージの中では、偏っていますよ。「えっ、え～」と言わないで下さい。「救われた、救われてない」というのは、それは、**救われてからどういうふうに我々が、変貌して変えられていくのかというその『プロセス』に、目を留めさせない弊害があります。**03:49.31

そしたら、もし『救い』ということを経験した言葉として言うならば、我々が完成させられていく、変貌させられていくという『プロセス』を、そのものも含めて『救われる』ということを使うべきです。さっきの「祈り」もそうです。「祈り」と「救い」というのは、その二つの言葉というのは、大切なように受け止められながら、本当に漠然としています。04:43.41

神様の大切な願いは、もちろん、神様と向き合って歩み始めることです。それがなかったら始まりませんからね。だから。全然知らない人に、主を教えるべきですよ。伝えてあげるべきですよ。でも、その伝えてあげるその人自身が、主の姿に変えられていってなかったら、その人が伝える福音の奥深さというのは、伝わりがたいです。05:48.95

それで、聖書の中には、もちろん神に初めて出会い、交わりをし、生き方が変わった人がいっぱい出てくるんですね。私たちみんなも、その一人じゃないですか。その皆さんに聞きますが、本当に主に向き合って、周りの人がわいわい言ったからつられて言ったんじゃないくて、自分一人である時に主と向き合って、主から強いインプレッションを、自分に与えられて、私は、神様の心を経験した。心が開かれ、自分の曇っていた目が開かれ、前よりも、一歩進んだという、そんな啓示体験が、多かれ少なかれ、みなさん、あると思います。そんな、強烈でなくてもいいんですよ。ふとしたことで、予期せぬことで、私は、主を霊の内に経験した。それが、自分の魂に本当に残った。そういう体験が多かれ少なかれ、大なり小なり、みんなあります。9:24.76

ただ、伝導されて、「神がいるよ、イエス様はこうよ」と言って、知識を教えられて、それに賛同して、「あ、そうなんだ、わかりました。じゃあ、信じます。」と言って信じた。何の主との霊的な体験、深い魂が揺さぶられる体験は、自分はなかったけれど、信じていますよ。」という人もいます。それでもいいんです。でもね、それを何か秤で量ることは出来ないけれど、そういう経験を得た時に、どうですか？得る前と得た後では、あなたの主の前でのたたずまいは変わったでしょう。この次、主と交わる時に、変わったでしょう。そんな経験があなたのクリスチャン人生の中に、何回かあったでしょう。私もありました。10:54.11

聖書のある御言葉を普通に読んでいながら、急にある日、その言葉が自分に強く迫ってきた、そういう御言葉体験。「そうだ、そうだったのか」と思う経験をするでしょう。それは、聖霊が、我々に与えて下さる恵みの時、恵みの瞬間です。私たちは何気なく、昨日こんなことがあったんだ。と、それを人に言うか、言わないかは別にして、自分の内側にずっと溜めている場合がある。でしょ。それは、聖霊が我々に下さるとしても良い賜物。瞬間ですよ。そういう時を持ちましょうよ。我々、みんなも。集会でみんなに流されて、皆がこうだから私もこうじゃなくて、一人である時が大切なんです。12:26.64

だから、夫や妻がないほうがいいと、・・・家族ない方がいい。一人である方が、主とぞっこんになれるって、パウロが言っているんです。夫婦である者は、夫も妻もない物のようになりなさいって。離

5C⑨キングダムセミー20250920

婚しろと言っているんじゃないよ。そういう意味じゃないよ。家族がいて、ワイワイ賑やかで、家事しなきゃいけない、掃除も洗濯も全て色々あるけれど、・・・自分と主との時間と言うのは、夫がどうだ、妻がどうだって、そんなのは言い訳ですよ。自分でしっかり、そういう時は時で、捻り出せばいいんです。主と二人で歩く時があった方が良いでしょう。その時に主が、とっても良い時を与えてくださるんです。13:32.25

それで、ハッと気がつくじゃない。そしたらどうですか？私なんか、もう長い間いろんなクリスチャンの人と出会ってきていますから、「しばらく会ってなかったあの人、変わったな。」って思う時がよくあります。で、後々でその人の経験をちょくちょく聞かしてもらった時に、そういう経験があったらしいんです。「あ、そう、それでー」って、納得するんです。14:09.54

もう、40年も前ですけど、私が兵庫県の教会にいた時に知り合い、教会にやってきて神と共に歩み始めた方がいたんです。男性で。その方とは、私が東京に移ってからでも、2、3ヶ月に一度は電話で話しているんです。ずーっと。それで、「どうしている？」「今ね、どここの教会と交わってね」って、そんな話をしながら話すんだけど、もう40年から経つ今でもね、時々いきなりね、「どうしている？」っていう挨拶言葉も終わらぬままね、「いやー、あのね、ヘブル章の〇章〇〇節なんですけど・・・」って話が始まる時があるんです。「どうしたの？」と言って、「ここを読んでいると、開けてきましてね・・・」って、話になる。・・・そういう経験をちょくちょくしているんです。それで、私も驚くほどで、「ああ、良かった！主と共に歩んでいるんだな。御国の兄弟よ」と、そんな楽しい話になるんです。15:44.99

けれど、どうですか？皆さん。そういう経験をした時に、私、いつも思うんですけど、その経験をしたら、ついあの人この人に、話したくなるんだけど、「話さない方が良いでしょう。」と言うんです。そしたら「えー、話したい」と、「分かるよ」って。「話したいのはよく分かるけど、ちょっと自分の内でその経験を留めて置いて、自分の中で御霊と共にふくらましたらいいよ」って、言うんです。16:36.87

というのは、それが与えられて、自分が変わりゆくという、そういう変節の時。それは、あなたが、これから変貌していくための"サナギ"の時なんですからと。"サナギ"って分かりますよね。昆虫が毛虫の時から飛び立っていく時、全然、形が変わりますよね。その形が変わりゆく変わり目に、"サナギ"っていう状態がありますよね。聞いたことありませんか？この昆虫の"変態"。変態って、あの今でよく言うその変質者の変態じゃないですよ。笑 体勢が変わるという変態ですよ。昆虫の変態という『科学的生物学的成り立ち』と聖書で言う霊的成長というのが、よく似ていますよって、そういう話を聞いたことない？これ、昔からから、語られてきたことなんだけど、『救い』と言う概念が、「本当に、あなた救われたの？救われてないの？」という、その伝説のレベルにと留まっていると、このことはあんまり語られなかったと思います。なんで皆さん、毛虫がチョウになる時に、間に"サナギ"が必要なんですか？

参加者: 壊されるため？

先生: はい、ちかいです。18:54.10

5C⑨キングダムセミー20250920

あのね、毛虫が"サナギ"になると、堅くもないんだけど、衣に包まれて、じっとしているじゃないですか。死んだのかなと思える、その状態のあの"サナギ"という状態。あの"サナギ"をね、プチっと、ごめんねー。まあ、もう昼ご飯済んだから、許してね。あの"サナギ"を指で、プチっと割ったことある？ないよねー。女性の皆さんはないでしょう。野山をかけ回る少年の頃の私はね、それ、やったことあるの。「いや〜」って、言わないで。少年の頃は、仕方がないよね。あれをプチって割ったら、中から液体が出てくるの。トロ〜ッと、要するに、「何これ？中、チョウチョじゃないじゃん。液が垂れているんだ」という体験があったんです。・・・なんで液状なのかというと、・・・それは、生物学的なところで調べたら（・・・毛虫の変態が聖書に関連付けてよく語られるから、大人になって後で調べたて分かったんだけど）、毛虫の元々の細胞の中には、いわゆる毛虫のDNAがもちろんあって、その毛虫の細胞のDNAの中には、毛虫のDNAでもありながら、蝶々になる、あるいは他の将来昆虫になって羽ばたくためのDNAも詰まっているんだって。で、毛虫のDNAの部分が"サナギ"になった時に、全部死ぬ、さっき言われたように、全部、壊される、それで、溶けるらしいのです。溶け溶けるんだけど、その溶けた中に、今度はチョウになるためのDNAが残っていて、それが活動し始めるんです。毛虫のDNAが死ななければ、チョウになるDNAが活性化しないという。それをもう忘れたけど、何とか現象って言うんですよ。・・・だから、聖書で言えば、『死と再生の原理』。22:25.29

だから、私、思っていたんですよ。鳥が来たら食われないように逃げていく虫たちのくせに、こんな"サナギ"になって、木に止まっていたり、葉っぱに包まっていたりしたら、すぐに食べられるだろうと。そうでしょ。なんでこんな"サナギ"の時が必要なんだろうかと。「さあ、食ってくれ」と言っているようなものじゃん、ね。わんぱくなガキに取られてプチッとされそうになるくらいだったら、そんなにならないで、「パッパッぱっと、動けるようだったらいいのに」とよく思っていたんです。23:10.03

でもね、その"サナギ"の時ってというのは、その生物上なくてはならない"変態の時"なんですって。それで、私たち人間の霊性も神にあって生まれて、生み出されて行く時に、今までの歩み方、今までの魂の状態というものから変貌していく、変態していくためには、あの昆虫の"サナギ"の時期と、本当にぴったりな時期を私達は、通され要求されているのではないんだろうかということです。

だから、そんな目が開かれるような霊的体験の後、「わー、ハレルヤ！皆さん集まってきて下さい。わー」と、そんなことをやれと、聖書はあんまり薦めてないと思いませんか？アブラハムもモーセも。モーセなんかどうですか。主から啓示を受けて、「さあ、イスラエルよ。今すぐ出ていくぞ」と、言いましたか？どこ行っただんですか？燃える芝を見る前、羊を飼ってたんでしょ。そういう時があったわけじゃない。じーっと、まるでモーセの生涯からすれば、あの時"サナギ"になったようなもんよ。でしょ。ダビデも。野の洞窟の中に隠れて、何年?!変化、変化に、"サナギ"の時期があります。パウロもそう。パウロも霊的に目覚めて、すぐに伝導に行ったんじゃないですよ。3年の"サナギ"時があった。パウロもこもってたじゃん。そういう時期が、みんなあるんですよ。26：37.53

5C⑨キングダムセミナー20250920

その"サナギ"の時期を大切にしていますか？ということです。何のために大切にする？それは、主のよ
うな栄光の姿に、私たちが移り変わらせてもらっていくためです。じっくり、しっかり前の時代の自分
の死を味わう。脱ぎ捨てていく。衣を脱ぐんです。そして、新しい衣を着る時が来る。実際、そういう
のが、あなたのクリスチャン人生ではありませんでしたか？今が、"サナギ"の時だという人もいますで
しょう。いや、"サナギ"が終わりかけてきましたという人もいますでしょう。27:36.84

キングダムセミナーで、こういう事を聞いて、ガンガン、ガンガン、"サナギ"の紐が振りかかってくる
か？どんどん、どんどん、自分の中に、引きこもることが必要かもしれない。大いに結構なんです。ど
うぞ、引きこもって下さい。でも、必ず、古き皮を捨て、新しい衣を、その都度、着る時が来ますか
ら。でしょ。そのタイミングは、みんなそれぞれなんです。ですから、一人のパターンに、一人のやり
方、表現に、みんなが強制的に合わせられるということはありません。

"サナギ"の人は、"サナギ"でいて良い。新しい変態を遂げた人は、その人なりに飛び立てば良い。でも
サナギは、人生に一回じゃないよ。何回もあるよ。私もそうでした。私、クリスチャンになって、もう
50年近くなるんですけど、何回"サナギ"があったんだろう。でも、もう終わりじゃないよ。私、また"サ
ナギ"になりますから宜しく。笑。ね、『私、暫く"サナギ"になりますから、キングダムセミナー、辞めま
す』ということがあるかも知れません。怒らないで下さいね。それで良いじゃないですか。

それから、さっき言った私の一つのこだわり、"サナギ"の時って、防御が弱いじゃない。皆さん、そ
んなに深く見たことないでしょ。私、子供の頃から"サナギ"を探し回っていた頃がありましたよ。ごめ
んね。そんなに潰していないからね。でね、"サナギ"ってね、案外面白いんですよ。鳥やねずみや、蛇
が、そういうものが食べにくいところに、"サナギ"を作っています。知恵があるんですよ、あれも。
で、それもね、自分にまとっているもの、それは昆虫によるんでしょうけど、トゲトゲの枝のちっちゃ
いやつを、体の周りにまとってるのもいるんです。あれ、ばくっと食いにくだらうなと思うんです。
でも、「さあ、食ってくれ」と言わんばかりに、枝にぶら下がっているのもあるけどね。

けど、あの時期を経ても、ですよ、みなさん。秋の今頃、どれだけ昆虫が鳴いていますか？秋の虫
が、全然減ることがないんですよ。おそらく、だいたい鳥に食べられていると思うよ。地を這う生き物に
もね。けど、それに負けないくらい繁殖しています。あれね、土の中とか、木の中とか、木の外じゃな
いよ。木の割れ目の中に作っているんです。あれは、防御本能なんだろうね。

あなたの聖霊の、神の、イエス・キリストのDNAは、あなたが、"サナギ"になっている時でも、あな
たを守っていますから。大丈夫なんです。新約のキリストの身体的な表現をすれば、あなたが毛虫の時
でも"サナギ"の時であっても、あなたは覆われているから。主の体の中で。うん、安心したらいい。覆
いの中で、のんびりゆっくり、"サナギ"でいるべきです。自分の中に、新しいDNAが、御国を飛び立つ
自分に、造り変えるまで。その時になったら、その時のキリストの信仰の使い方ができるんです。でき
るようになるんです。32:58.26

だから、一人一人が、「どういう"サナギ"を経て、どういう変態を遂げてきているのか」ということをよく知っている兄弟姉妹を、あなたのところに主が与えようとしています。それがキリストの体というものです。だから、主のあなたへのメッセージ、気持ち、招き、そういったものにその人たちが確証を与えてくれる。すなわち、覆いとなり、保護となっていてくれるんです。言ってくれるその人が、同じ"サナギ"だったら出来ないよ。でも"サナギ"でないそういう人たちを自分のところに会わせてくれている。それがキリストの体の恵みなんです。

神の国の学校は、公立、私立学校の教室ではありません。みんな一緒のことを一斉に学び、「はい始めなさい」というんじゃないんです。あなたに合ったカリキュラムとプロセスを神様は、持っているものなんです。それで、招き、励まし、天を開き、私達を変貌させようとしておられるわけです。だから、今日覚めるものよ。私の中で、喜び楽しみなさい。って。それじゃあ、楽しもうかなと、思えましたか？

クリスチャン生活って皆さん、周りを気にして、「ああしなきゃ、こうしなきゃ、こうだ、ああだ」と、攻められ、急き立てられる・・・それって、周りから攻め寄せる『律法』ですよ。そうじゃないの。自分の中にいるイエス・キリストの信仰のDNAで、築き上げられていくものなの。楽しく、ウキウキと、ワクワクと。36:16.94

そんな楽しそうにしている人から、「イエス様ってね」と言って、福音を聞かされる方がいいでしょう。誰だって伝導されるんなら。どうですか？私は、誰かから伝導されてクリスチャンになったんじゃないからおそらく、そんな急き立てられて、「ああ、でも、こうしなくっちゃね」と思って、セカセカしている人から福音を聞いても・・・、私、信じたかな？と思いますよ。37:16.95

では、本の 51 ページの真ん中辺の段。マルコ・・・というところを読んでいますよ。

マルコ 11 章 22 節の（イエス様が言われた）「神を信じなさい」は、原文では「神の信仰を持ちなさい」という『命令』であることをご存知の方も多いでしょう。

・・・『神の信仰を持ちなさい』とイエス様は言ったんです。これを『神を信じなさい』と訳した方が、文章的には良いよと思ってそうしてしまう時代がある。日本的に言えば、"空気がある"。それもわかりますよ。わかりますけど、私達は今、一つ剥いで、『神の信仰をもちなさい』という命令であることを知る時が来ています。・・・

聖霊は『イエスの信仰』をもたらし、イエスは『神の信仰』を持つことを命じています。私たちがこんなにまで、主と同じ姿になるように招かれていることは、なんと光栄なことなのでしょう。

・・・本当にそうですよ。・・・

5C⑨キングダムセミナー20250920

ちっぽけな信仰を隠すことなく、**使えば使うほど持っているもの以上に、ついに『神の信仰』になるまで与えられるのです。**・・・ハレルヤ！・・・これからは深い黙想と集中力を持って、自分の信仰に対するイメージを変えなければなりません。

徹底的に「私の信仰は、主から頂いたもの！」と認識し、霊のレベルからの常識になるように、御言葉を消化しようではありませんか。なぜならば、真理が単純すぎるからです。

・・・本当です。単純すぎて、単純すぎて、人間はそれを難しく考えようとする。・・・

そして、さらに安心なことは、あなたの内側で、『イエスの信仰』をあなたが必死になって持たなくても良いということです。・・・良かったね・・・『**イエスの信仰**』は、**あなたの霊の中にやって来て、あなたと一つとされた『聖霊が持っている』のです。**

イエスの目、イエスの考え方、イエス様の人格、イエス様の能力を、聖霊があなたに開いていく、歩調に合わせて、『**信仰の行動**』をとっていけば良いのです。

・・・多少、行きつつ、戻りつつ、途中で挫折をしたり、あの道、この道に行ったとしても、ですよ。ゆっくり、楽しみながら行けば良いのです。どうしても、その都度、自分を打ち叩きたい衝動に駆られる人がいるかもしれません。でも、今日の話をよく聞いて、それは、やめた方が良いですよ。必要ありません。だからと言って、開き直って、のんびんだらりとやるのもね、それはまた、別の問題。・・・

42:18.69

だからこそ『**イエスの信仰の行い**』に出るということは、『**律法の行い**』に勝るのです。

・・・わかるでしょう。これ。そう言われたから、そうしなきゃ、怒られるから、罰が与えられるから、バチが当たるから。神様が怒るから。仕方なくと、しいて自分をそれに向けていくのです。そうではない。・・・

自分の中で聖霊ご自身が持っている『**イエスの信仰を使う**』ということは、日常生活の中で難しくはありません。それは**聖霊との語り合い、聖霊との交わり、聖霊と相談しながらの共同作業**だからです。聖霊が使い方も教えてくれるからです。このように『**イエスの信仰を使う**』ことの確信は、**聖霊との歩みにあるのです。**この部分は、【神の国における個人の成長】というテーマで、後日再び、学びと黙想に入ることになります。43：49.41

・・・ただ、ここで、皆さん、〈聖霊との交わり、聖霊と相談しながら共同作業をし、聖霊が使い方も教えてくれる〉と、サラッと書いてあるけど、前にこの点にも触れていますけど、**聖霊がいつも自分の頭の中で、心の中で、ポンポンと指図しているではありませんよ。**聖霊が、別な人間が自分の中にいるように、「ああだ。こうだ」と、ちょっかいを出してくれるわけではありませんよ。そういう意識的な声として、動作として。そんなことをやっていたらあなたは二重人格じゃないですか。・・・45:23.88

聖霊というのは、あなたの魂の根底に霊として、あなたの深みとして、そこに住んでおられる神の霊です。その聖霊には、聖霊の思いがあり、聖霊が神の心を知って、あなたを判断するいろんな能力があ

5C⑨キングダムセミー20250920

るけれど、聖霊は、あなたの内側で、あなたに命令し指図して、あなたを操縦するお方ではありませんよ。聖霊は、あなたの意識、知識、あなたの決心に"仕えるために"来られた『助け主』ですから。

46:28.57

自分の内側に、主と向き合って静まる際、あなたの心に聖霊は、あなたが感じ取るべきこと、あなたが感じとれたらいいと思うことを、聖霊が助けて、あなたの思いにあげてくれるんです。

あたかも、あなたは自分で考えて、自分で感じたかのような、思いが湧き立っているはず。主はあなたに、志を与えるんです。主はあなたに、アイデを与え、それをあなたに心の内に思い立たせてくれるんです。それを楽しめばいい、自分の中で。47:42.81

そして、自分の心に聖霊の実である愛、喜び、平安、寛容、善意、誠実、柔和、自制 全ての聖霊の実が、あなたの心に実ってくる。豊かに実ってくる時に、あなたは安心して、喜んで、決心できるでしょ。あれこれ、考えなくても、今まで言えなかったことを、その人に言う。自分の中から溢れでて、言っているかもしれない。「ああ、昔のわたしは、絶対こんなこと言えなかったな。でも、言えている。でも、動けている」「昔の自分ではそういうふうに、あの人を発見出来なかったな。でも今は、あの人をこう見られる。あの方は、こういう人だとわかってきた。そういうふうに見られる」そしたら、愛、喜び、平安でその人を 祝福してあげようということになる。

そのあなたの祝福は、有益です。律法で、発したことではない。49：20.27

さあ、じゃあ、「今日覚めるものを」という賛美を歌って終わりにしましょう。 1:01:42.58
賛美 1:07:04.41

はい、最後に一言。心を合わせて告白しましょう。
天の父、永遠の父、主神子イエス。そして、永遠の御霊。おー、それぞれ、働きを歓迎します。慕わしく、私達は、向き合います。喜びます。憩います。楽しみます。この主がここにおられる。我が内におられる。我らは主の中にいます。それをまず楽しみ、私たちはそこに留まり、そしてゆっくりと目を開き動いていきましょう。主よ、あなたの思いを感謝します。喜びます。私たちが密かに、そして熱く決心するのを待ってくださること、うれしいです。さあ、ここから進んでいきましょう。ハレルヤ！

我らと共に、ラインの皆さんと共に、そして録音でまた繰り返して聞かれる、その時、その時、その方がたと共に。この恵みを解き放ちます。主イエスの名の中で、御国の我ら神のこの権意の中で、これらのことを語り宣言しました。そして、主を褒め讃えました。アーメン！ハレルヤ！

はい、じゃあ、今日は、これで終わりにしましょう。LINEのみなさん、来月の10月も、第3土曜日ですのでね。宜しく願います。またお会いしましょう。はい、有難うございました！